技能五輪全国大会「家具」職種　Ｑ＆Ａ

NO.	質問内容	回答内容
Q1	甲板の留め部分がダボ接ぎになった場合、真っ直ぐ穴をあけるためにドリルガイドを用いてダボ穴をあけても良いでしょうか。	競技職種実施要領の「2.加工用治具について」（p.23） のとおり、「事前に製作した手加工ならびに機械加工用治具の持ち込みは不可」です。自作治具の他、既製の加工用治具も持ち込み不可です。
Q2	実施要領20ページの18に記載の、「昇降盤で100㎜以下の幅決めを行うさいに使用するプッシュバー」の形状が知りたいです。	プッシュバー（押し棒）の図面を追加公表しました。
Q3	ペーパーについて 治具材料として支給される集成材や、材料をカットした落とし材などに両面テープを使用してペーパーを貼り付けサンディングブロックとして使用する事は可能か。	可能です。
Q4	甲板の突板貼りのやり方について アイロンを使用する以外に甲板に突板を接着する方法として、クランプを使用して板同士で挟み込み圧着する方法は認められるか。	突板貼りの手法として、クランプを用いたコールドプレス（常温圧締）を選択しても構いません。ただし、接着剤は支給されたもの以外を使用することは認められていません。
Q5	ジグ制作用等に打ち付ける釘を持ち込んでもよろしいでしょうか。	治具制作用等の釘は持参不可です。代わりに、共用の支給材料として、以下の鉄丸釘ならびにステンレス釘を会場に用意します。 鉄丸くぎ（N19／N32／N38／N45／N50）、ステンレス釘（長13／長16スクリュー／長19スクリュー）。
Q6	脚部のJBG審査について地板前縁と左右前脚の剣留めほぞ接ぎ部分をJBG審査に提出する際、地板前縁と地板を接着した状態で提出することは可能ですか。また、提出する際は地板前縁のとき ん面を仕上げた状態で提出しなければならないのでしょうか。	当該箇所のJBG審査は、脚と側板、ならびに地板前縁と地板を接ぎ合わせる前の状態、つまり、脚（２本）と地板前縁（１本）の合計３本を兜布面（ときん面）を加工する前に提出してもらいます。
Q7	突板貼りのカットでカッターを使用する際に円形刃の突板用カッターを使用することは可能でしょうか。	「円形刃の突板用カッター」は、実施要領p.29「選手持参工具」にある「カッターナイフ」とは異なる特殊専用工具とみなされるため、持ち込みは不可です。